

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第1回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告（公開）

令和4年度 中郷区の主な事業について

令和4年度 地域活動支援事業の募集結果について

地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等について

（2）協議（公開）

新たな自主的審議事項について

（3）その他（公開）

上越市消防団中郷方面隊第2分団の体制見直しについて

令和3年度「意見書」提出事業のPR用事業名について

3 開催日時

令和4年4月27日（水）午後6時30分から午後8時20分まで

4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

5 傍聴人の数

5人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：荒川清尊、岡田龍一、高橋京子、高橋達也、竹内昭彦、竹内靖彦、松原功、宮川昇藏、陸川昇一、陸川陽一

・事務局：高波義明中郷区総合事務所長、内藤香織次長（総務・地域振

興グループ長兼務)、宮尾広幸市民生活・福祉グループ長兼
教育・文化グループ長

桐山英之地域振興班長、津島優希地域振興班主事、恩田一総
務班長、兒玉豊産業建設業務窓口班長、不破直美税・市民生
活班長、高橋之夫福祉班長、野坂公子教育・文化班長

以下、総務・地域振興グループは総務G、市民生活・福祉グ
ループは市民G、教育・文化グループは教育G、グループ長
はG長と表記

8 発言の内容 (要旨)

【桐山班長】

- ・会議の開催を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内 (靖) 会長】

- ・挨拶

【桐山班長】

- ・職員自己紹介

高波所長、内藤次長、宮尾グループ長、桐山班長、恩田班、兒玉班長、野
坂班長、高橋班長、不破班長、津島主事、加藤副主任

【竹内 (靖) 会長】

会議録確認：「荒川清尊」委員と「竹内龍一」委員に依頼。

報告事項(1)「令和4年度中郷区の主な事業」について事務局に説明を求める。

【内藤次長】

- ・資料№1に基づき説明

【竹内 (靖) 会長】

- ・昨年意見書を提出した、勝馬投票券場外発売所立地関連地域振興基金を充当する事業が盛り込まれている内容になっている。今回予算付けされ非常にありがたい。消雪パイプの修繕は、特定防衛施設周辺整備調整交付金の絡みがあるが、中郷区にとって大事な事業になってくる。
- ・質疑を求める。(質疑なし)
- ・次に、報告事項(2)「令和4年度地域活動支援事業の募集結果」について事務局に説明を求める。

【津島主事】

- ・資料No2に基づき説明

【竹内（靖）会長】

- ・この地域活動支援事業は、今年度で廃止するという見通しである。しかし、この事業があることによって活動できる団体もあるし、地域が盛り上がってくるという面もある。今後の自主的審議事項や地域が提案していく事業にどう反映させていくかというところが、地域協議会が苦勞して時間をかけて審査してきたことの集大成であり醍醐味だと思っている。今回は、市が主体となり会長、副会長も加わって審査することにしたが、今まで通り慎重に審査させてもらい、委員の皆さんの声も聴いて厳正に行う。
- ・質疑を求める。（質疑なし）
- ・次に、報告事項No.3「地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等」について、事務局に説明を求める。

【桐山班長】

- ・別冊資料「地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等について」に基づき説明

【竹内（靖）会長】

- ・地域自治推進プロジェクトは、中郷区地域協議会が今までやってきたことそのものである。昨年度まで勝馬基金の用途について議論する中で、いろいろな人との意見交換や、団体から意見を聞くなどし、今年度の事業に結びつけた。進め方や考え方は、これと一緒に、ただ、それが少し形や名称が変わっただけであると考えている。
- ・質疑を求める。

【高橋（達）委員】

- ・昨年の9月ごろから、新たな自主的審議事項について検討しているが、その時点でこの資料が出てくれば、もっとわかりやすかった。大筋ではこういう形で進めるのが一番いい。ただ、予算編成の関係で9月を目処という部分は、それほど強く意識しないほうがいいと考える。早く進められれば良いが、審議する内容が大切である。目指す方向性として、今までやってきたことを文書にまとめられればいいのか。もう一度、各委員の間での再確認する必要がある。

【竹内（靖）会長】

- ・各委員が地域で活動する中で、それぞれの得意分野がある。これから5年、10年、30年先の中郷区を見据えた地域を残すための事業の提案であるので、しっかり議論していかなければならない。
- ・難しく考える必要はないが簡単すぎても困る。これまで通りみなさんとディ

スカッションしていくということでもいいと考える。

- ・協議（１）新たな自主的審議事項に移る前に、先般行われた市議会総務常任委員会との意見交換会に参加した内容を報告する。
- ・地域協議会委員の人材について、男女比の差があることや若い人が委員にならないことが挙げられた。また、意見交換の際なども、若い人の意見が出てこないことが挙げられた。委員報酬が少ないからではないかとの意見もあったが、私は金額の問題ではないと発言した。
- ・地域自治区制度のあり方について、来年度に向けた地域独自予算の要求や地域の将来ビジョンの話があったが、他地域の地域協議会員からは「無理だ」、「間に合わない」など、ネガティブ志向の意見が多かった。
- ・地域活動支援事業の廃止については、賛成もあれば猛反対の意見もあった。
- ・最後に、「28ある地域協議会は、考え方や進め方はそれぞれ違う。」「議員に現場の声を直接聞いてほしい。」そして「肌で感じてほしい」と発言してきた。
- ・意見交換会に参加し、良い機会であったが、我々は、中郷区地域協議会として行政と地域の協働ができていく現状が認識できたし、これからも崩さずに進めていきたいと感じた。

【高橋（達）委員】

- ・意見交換会の新聞記事を読んで、会長が意見交換会に参加するにあたって、事前に各委員からの意見を聞いて臨んでいるわけだが、掲載された新聞記事では違った方向のことが書かれていて驚いた。

【竹内（靖）会長】

- ・協議（１）新たな自主的審議事項に移る。
- ・今ほど自治推進プロジェクトの説明を受けたが、説明を受ける前に私の考えを資料（パワーポイント）にまとめてきたので見ていただきたい。
- ・地域課題の新たな気づきを見つけない。町内会や各種団体から協議してもらい、その結果をまとめてもらう方法が良いのか。加えて、町内会には、子ども会や老人会の活動などについても吸い上げてもらいたい。喫緊な取組として、アンケート形式にするとか。皆さんと議論して良い方法を探りたいが、じっくり議論する時間も限られている。とにかくいろんな意見を吸い上げる必要がある。
- ・そのためにいろんな団体内で意見交換をしてもらい、それを地域協議会に聞かせていただきながら意見交換をしたい。各委員には私が考えた3分野の内、それぞれが希望する分野に分かれて議論してもらいたい。市の職員からも入ってもらう予定。
- ・その後、テーマを最終的に決定するにあたって、地域関係者からの情報収集・意見交換を行い、最終的に、それらをまとめて意見書の提出になるか、地域

と市が連携する場合に予算が必要となれば「地域を元気にするために必要な提案事業」とすることになる。

- ・高橋（達）委員から、時間にとらわれずに議論が大事との発言があったが、今年度の目標としては、来年度の予算要求に間に合うように進みたい。
- ・防衛省の調整交付金についても議論していきたい。まずは勉強会から始めることがよいと考えている。
- ・委員に意見を求める。

【高橋（京）副会長】

- ・一番のネックは、町内会や団体ごとに意見の抽出をどこまでやるか、うまく進めないと代表者の個人的な意見になってしまう危険性がある。私たちが本気にならないといけない。

【竹内（靖）会長】

- ・それぞれのトップの意見だけではなく、広く意見を聞きたい。

【陸川（昇）委員】

- ・町内会に集まってもらっても、役員などしか集まらない。何が問題なのか、困っていることはないか、少し話題を絞って投げかける方法はどうか。

【竹内（靖）会長】

- ・アンケートを取る方法もある。期限を切って、町内会から意見をまとめて提出してもらおう方法もある。子ども会や老人会もあり、どういう団体まで広げるか。

【高波所長】

- ・中郷区の町内会は、普段からコミュニケーションがとれているので、子供会や老人会の意見集約を町内会に依頼し、出てきた意見をそれぞれの会に聞きに行く方法もあるのではないか。

【竹内（靖）会長】

- ・最初の依頼部分は丁寧にやっていきたい。具体的な方法については、事務局と協議して決めたいと思うが、各委員においては、所属する町内会で協議する機会を見つけてほしい。
- ・今日の協議は、委員が希望する担当分野を決め、それを基にチームを組み、リーダーを指名させていただき、決定したチームでテーマを絞った後、全体で協議を進めるといった、今後の進め方を確認するところまでとする。
- ・4その他（1）上越市消防団中郷方面隊第2分団の体制見直しについて、事務局に説明を求める。

【恩田班長】

- ・資料№3について、説明。

【竹内（靖）会長】

- ・質疑を求める。

【高橋（達）委員】

- ・消防団員の人数は何人か。

【恩田班長】

- ・合計で30名、旧岡沢第1班は11名、第2班が12名、福田班が7名。

【松原委員】

- ・全体で何班になるのか。

【恩田班長】

- ・9部体制である。

【竹内（靖）会長】

- ・昔に比べ消防団に入ると意識が薄くなっている。

【松原委員】

- ・訓練の日時を変えるなど、これまでのやり方や考え方を変えていかないと集まらないのではないか。

【高波所長】

- ・時代を経て変わってきた。消防改革ではないが、部隊訓練は廃止した。練習時間は夕方6時30分くらいからやっている。コロナ化の状況ではあるが、団員は頑張っている。

【竹内（靖）会長】

- ・地域の大事な組織であるので、消防団活動に理解すると同時に協力していかなければならない。

- ・（2）令和3年度「意見書」提出事業のPR用事業名について意見を求める。

- ・「ずっと大好き中郷、未来の子ども達につなげる事業」に決定する。

これをもって、本日の会議を終了する。

次回は5月25日（水）午後6時30分から「中郷区コミュニティプラザ」で行う。

9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL:0255-74-2411(内線165)

E-mail:nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。